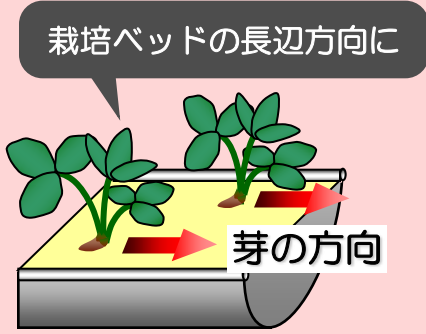
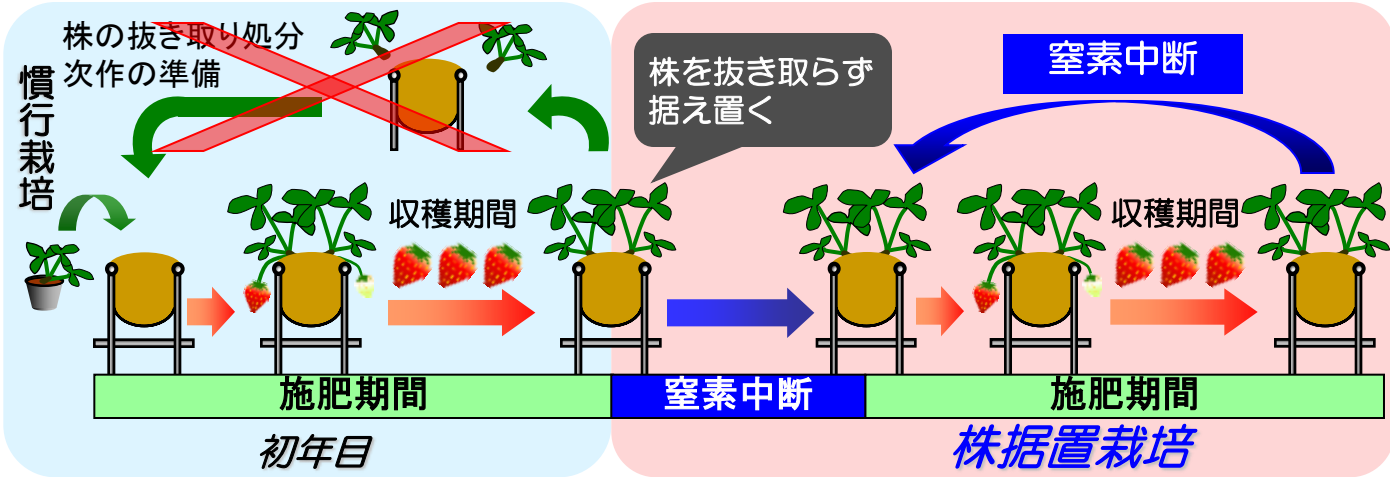


同じ株で何年も収穫！イチゴ「株据置栽培」

「株据置栽培」は、果実の収穫が終わった株を抜き取らずにそのまま栽培ベッドに据え置きます。そして、次作もその株から果実を収穫します。適切な栽培管理により、毎年安定した収量が確保できます。(特許第3809475号)



初年目の定植

月	~5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月~
作型	収穫	収穫終了 据え置き			花芽分化			収穫
主な管理	施肥期間	窒素中断期間 (かん水だけ)			施肥期間			
防除		← うどんこ病重点防除 →			うどんこ病 (定期防除)			
		← ハダニ重点防除 →			ヨトウ類	ハダニ・アブラムシ類		

株据置栽培体系



技術のポイント

- ① 芽の伸長方向を栽培ベッドの長辺方向に定植
- ② 5月上旬～6月上旬に窒素中断を開始
- ③ 2年目以降は1株あたり2芽で管理
- ④ 窒素中断期間は、ランナー・古葉を適宜除去
- ⑤ 花芽分化を確認したら、施肥を再開

本技術により

- ①育苗を省略でき、夏季の作業時間を1/3に削減
- ②早期に花芽分化し、11月から収穫が可能

※イチゴの株据置栽培は特許を取得しています。

本技術をご検討の際は、農業技術センターにご相談ください。